

【開催日時・会場】

(区 部)①平成27年7月29日(水)／②31日(金) 18:00～19:30

於 TKPガーデンシティ竹橋

(多摩部)③平成27年8月4日(火)／④5日(水)18:00～19:30

於 立川市女性総合医療センター(アイムホーム)

【参加者】

都内全病院、医師会・歯科医師会・薬剤師会・看護協会・病院団体・医療保険者・区市町村代表 等

【参加人数】

① 187人 (うち、病院参加者 149人)

② 165人 (うち、病院参加者 134人)

③ 106人 (うち、病院参加者 86人)

④ 88人 (うち、病院参加者 73人)

【議 事】

(1)地域医療構想について(地域医療構想策定ガイドラインの説明、東京都における検討体制 等)

(2)平成26年度病床機能報告 東京都集計結果について

(3)2025年の医療需要推計について

主な質問・意見

- 病床機能報告における4つの医療機能と地域医療構想における医療需要推計の4区分では定義が違う。単純に比較して削減していくというのは難しいのではないか。
- 地域医療構想は地域包括ケアを目指す一方で、高度急性期・急性期が絞られるように感じる。結果、地域で完結すべき医療が完結できなくなるのではないか。
- 二次保健医療圏の中でも、区市町村ごとに偏在がある。地域の実情を踏まえた上で議論を進めて欲しい。
- 心筋梗塞・脳卒中のように疾患によっては近くの医療機関へ収容されなければならないものもある。予定入院とは別に議論していく必要があるのではないか。
- 地域の中小病院でも急性期を担おうとしている病院は多いため、策定にあたって考慮して欲しい。
- 地域医療構想調整会議において地域ごとの機能分化を図るとされているが、病院経営に直結する話でありどう折り合いをつけていくかが課題となるのではないか。
- 病床削減を達成するために、診療報酬によって誘導されるのではないかと不安である。